

# 工事写真報告書

工 事 番 号      平成      26   年度

工 事 名 N 様 邸

工 事 箇 所 外壁・その他塗装工事一式

工事住所 田川市 伊田

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

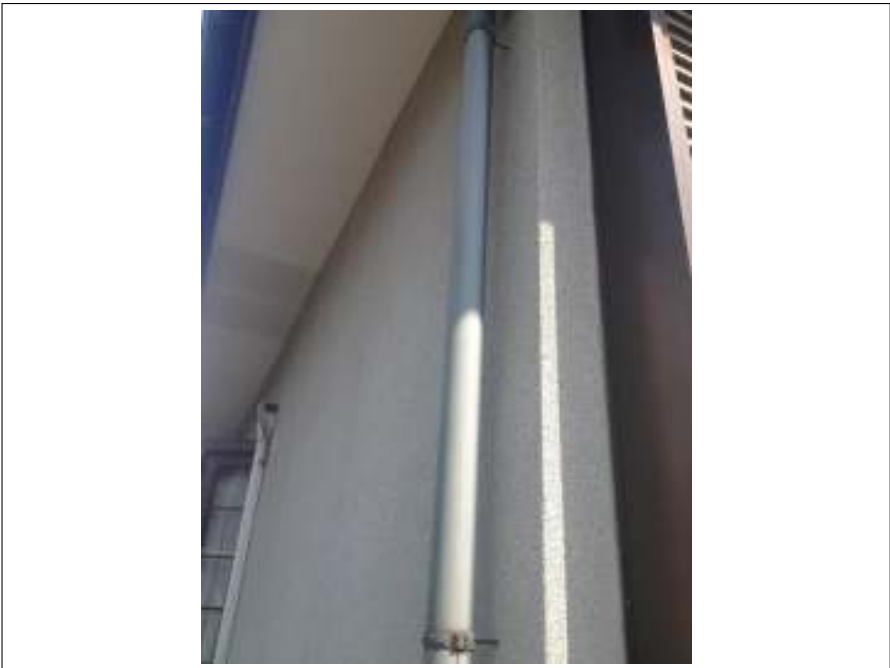
---

---



破風板

旧塗膜が剥離をおこしています。  
このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用  
の下塗り・上塗りを行います。



樋

こちらは塩ビ素材になります。  
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗り  
をおこない塗装をしていきます。



ダクトカバー

同上



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の  
塗装をしていきます。



シャッター

この部分は鉄、スチール素材になり  
ます。劣化するとサビが発生してき  
ますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をし  
てもすぐにサビが表面化してきます  
ので、ケレン作業・サビ止め等の下  
地処理をおこない、塗装をしていく  
必要があります。



## 基礎 クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



## チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



## 外壁劣化部

劣化している部分があります。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・壁材の痛みや建物の寿命につながりますので、早めの塗装をお勧めします。

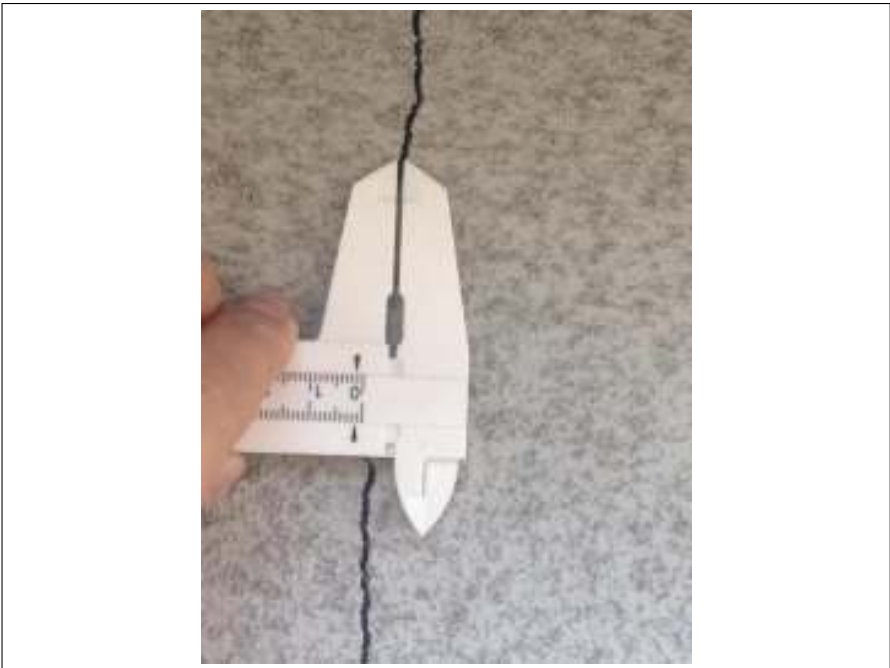




外壁クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



外壁クラック

0.3mm以上のクラックは補修が必ず必要です。



外壁クラック

同上



外壁クラック

同上



外壁カビ発生部

カビの発生が見られます。  
カビの上にいくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



外壁カビ発生部

同上



外壁カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



外壁カビ発生部

同上

作成者：戸高 勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

